

財政健全化計画等執行状況報告書

1. 基本的事項

団体名	美郷町	会計名	簡易水道事業	団体担当者	竹原 栄蔵
承認年度	平成20年度				

2. 判定結果

項目	計画最終年度(又は改善額合計)			計画前年度実績(又は補償金免除額)		類型
	目標値	実績値	乖離値	実績値	乖離値	
① 地方債現在高						
② 実質公債費比率						
③ 職員数						
④ 改善額	46.0	-65.0	▲ 111.0	4.0	▲ 69.0	c
⑤ 公営企業債現在高	329.0	341.0	▲ 12.0	364.0	23.0	c
⑥ 累積欠損金比率						
				総合判定		c

3. その他

(i) 計画及び前年度執行状況の公表状況

計画:平成20年12月 公表 (HP) 広報紙・その他【 】)
 執行状況:平成24年9月 公表 (HP) 広報紙・その他【 】)

(ii) 計画及び前年度執行状況の議会への説明

計画:平成20年9月 説明
 執行状況:決算議会時に適宜説明

(iii)実績値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

Blank area for notes regarding the reasons for not meeting the planned target values and any unavoidable circumstances.

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

Blank area for notes regarding measures for improvement and future outlook.

(v)改善方針の進捗状況

Blank area for notes regarding the progress of the improvement policy.

団体名	美郷町
会計名	簡易水道事業

② 実質公債費比率 該当なし

類型

(i) 推移表

(単位: %)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	計画最終年度 (平成24年度)	計画前年度 (平成19年度)
計画目標値(A)						
実績値(B)						
乖離値(C) (A-B)						
乖離率(D) (C/A)						

(ii) 要因分析

(単位: 百万円、%)

係数項目	平成22年度				やむを得ない事情	採用係数
	計画目標値(A)	実績値(B)	乖離値(A-B)	乖離要因		
地方債の元利償還金						
準元利償還金						
地方債の元利償還金又は準元利償還金に充てられる特定財源						
普通地方交付税の額の基準財政需要額に算入された地方債の元利償還金						
標準財政規模						
単年度実質公債費比率					単年度再算定比率	

係数項目	平成23年度				やむを得ない事情	採用係数
	計画目標値(A)	実績値(B)	乖離値(A-B)	乖離要因		
地方債の元利償還金						
準元利償還金						
地方債の元利償還金又は準元利償還金に充てられる特定財源						
普通地方交付税の額の基準財政需要額に算入された地方債の元利償還金						
標準財政規模						
単年度実質公債費比率					単年度再算定比率	

係数項目	平成24年度				やむを得ない事情	採用係数
	計画目標値(A)	実績値(B)	乖離値(A-B)	乖離要因		
地方債の元利償還金						
準元利償還金						
地方債の元利償還金又は準元利償還金に充てられる特定財源						
普通地方交付税の額の基準財政需要額に算入された地方債の元利償還金						
標準財政規模						
単年度実質公債費比率					単年度再算定比率	
実質公債費比率					再算定比率	

(iii)実績値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

Blank area for discussion of reasons for performance not meeting targets.

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

Blank area for discussion of improvement measures and future outlook.

(v)改善方針の進捗状況

Blank area for discussion of the progress of improvement policies.

(iii)実績値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

Blank area for inputting details regarding the reasons for not meeting the planned target values and any unavoidable circumstances.

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

Blank area for inputting details regarding the measures taken for improvement and the outlook for the future.

(v)改善方針の進捗状況

Blank area for inputting details regarding the progress of the improvement policy.

団体名	美郷町
会計名	簡易水道事業

類型	C
----	---

④ 改善額

(i) 推移表

(単位:百万円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	改善額合計	補償金免除額
計画目標値(A)	40	-16	15	-5	12	46	4
実績値(B)	-4	-133	22	31	19	-65	
乖離値(C) (B-A)	▲ 44.0	▲ 117.0	7.0	36.0	7.0	▲ 111.0	▲ 69.0
乖離率(D) (C/A)	-110.0%	731.3%	46.7%	-720.0%	58.3%	-241.3%	-1725.0%

(ii) 要因分析

計画最終年度における未達成の要因	影響額(単位:百万円)						備考	やむを得ない事情
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	合計		
地域活性化・生活対策臨時交付金事業による水道施設整備実施(H21線越)		29				29	国交付金事業	8
地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業による水道施設整備実施		124				124	国交付金事業	8
地域活性化・きめ細かな交付金事業による水道施設整備実施(H22線越)			48			48	国交付金事業	8
地域活性化・きめ細かな交付金事業による水道施設整備実施(H23線越)				4		4	国交付金事業	8
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
合計	-	153	48	4	-	205		
うち、やむを得ない事情	-	153	48	4	-	205		

(iii)実績値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

平成20年度から国の緊急経済対策交付金事業(平成20年度地域活性化・生活対策臨時交付金(H21へ繰越)、平成21年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金、平成21年度地域活性化・きめ細かな交付金(H22へ繰越))により水道施設の整備を行った。基本的には平成19年度に策定した簡易水道施設統合整備基本計画からの抽出により、平成22年度から平成28年度の事業計画の起債借入が少なく済むように事業を実施したところである。しかしながら交付金の性質上一般会計へ一括交付となり、一般会計からの繰り入れ措置を取らねばならなかったため、平成21、22年度の改善額に影響が出たところである。

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

平成21年度より財政健全化計画を基にした財政シミュレーションを作成し、当初予算編成、また補正予算編成において担当者協議により資本費の抑制に努めているところである。
また、一般会計繰入金増の主な原因となる施設整備のための起債償還については、繰上償還等により償還のピークは過ぎているが、平成22年度から平成28年度にかけて、新たな起債を伴う水道施設の整備計画があることから、なお一層の維持管理費等の資本費の抑制に努め、また、財政シミュレーションに基づく適正な料金改定を実施することにより、料金収入増を図りながら、今後も繰入金額を抑える。以上のことにより、改善額合計はやむを得ない事情を除いて目標を達成できる見込である。

(v)改善方針の進捗状況

国の緊急経済対策交付金事業等の活用により、基本的には平成19年度に策定した簡易水道施設統合整備基本計画から事業を抽出しながら、平成22年度から平成28年度の事業計画における、新たな起債借入が最少で済むように事業を実施し、改善額の数値を達成した。

(iii)実績値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

美郷町では、平成19年度に「水道ビジョン」及び「簡易水道施設統合整備基本計画」を策定しており、本計画に沿って平成22年度から平成28年度の期間で約8億円の事業費により町内の水道施設の統合整備を実施する予定であり、施設整備に対する事業費について一部起債借入の対象としているため、計画目標値との乖離が生じた。

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

計画は平成28年度までで、総事業費は22施設数に対して約8億円を予定している。既借入分の起債については償還のピークは過ぎており、今後の施設整備について新たに借入れる起債の償還のピークが計画では平成34年度である。その後は緩やかに減少するが、料金改定により、約1千万円の料金収入増が見込まれるため、簡易水道事業としての自己留保資金を確保し平成28年度以降の施設整備に備える。

(v)改善方針の進捗状況

平成19年度に策定した「水道ビジョン」及び「簡易水道施設統合整備基本計画」により施設整備事業が進められており、起債借入についても計画に沿って借入れが進められているところである。また、国の交付金事業等も活用しながら、計画以上の起債借入を行わないよう、基本計画に則って事業を実施している次第である。

団体名	美郷町
会計名	簡易水道事業

⑥ 累積欠損金比率 類型

(i) 推移表

(単位:%)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	計画最終年度 (平成24年度)	計画前年度 (平成19年度)
計画目標値(A)						
実績値(B)						
乖離値(C) (A-B)						
乖離率(D) (C/A)						

(ii) 要因分析

(単位:百万円、%)

	計画最終年度(平成24年度)		再算定値
	計画目標値(A)	実績値(B)	
分母(営業収益等)			
分子(累積欠損金)			
累積欠損金比率			

分母悪化要因

(単位:百万円)

要因	影響額(百万円)	備考	やむを得ない事情
合計	-		

分子悪化要因

(単位:百万円)

年度	純損益		乖離値(A-B)	乖離要因	やむを得ない事情
	計画目標値(A)	実績値(B)			
平成20年度					
平成21年度					
平成22年度					
平成23年度					
平成24年度					
合計			-		

(iii)実績値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

--

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

--

(v)改善方針の進捗状況

--